報告 REPORT

自民党道連「団体政策懇談会」

常任理事・医療政策部長　荒木（あらき）　啓伸（ひろのぶ）

標記政策懇談会は、自由民主党北海道支部連合会と自由民主党・道民会議北海道議会議員会（以下、自民党道連等）が経済、一次産業、医療・福祉、建築土木、運輸、教育など各種友好団体の懸案事項や提言を来年度の施策や予算に反映させるため、毎年開催されている。

本年度は10月７日（火）、午後４時30分から北海道議会自民党大会議室にて開催され、自民党道連等からは、花崎勝道議会議員（政務調査会会長）ほか14名が、当会からは、松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・水谷・青木・白崎各常任理事、小職および事務局が出席した。

檜垣尚子道議会議員の司会のもと、松家会長から「このような機会を設けていただき感謝している。医療機関の経営状況は依然として厳しく、逼迫した状況が続いているため、一日も早い救済に向けた方策の見直しが必要。先日、高市新総裁が就任され、診療報酬改定の前倒しに意欲を示されるとともに、補正予算を活用した支援策の検討にも言及されていたので、その手腕に期待したい」との挨拶があった。

次に、小職から要望事項33項目のうち、特に重要な要望事項として「医療機関の経営逼迫とその支援」、「医療DXの推進」「救急医療体制の充実・確保（メディカルウイング運航事業への支援）」について概要を説明した。その後、議員から「医療DX普及のための専門家によるアドバイスの導入」、「メディカルウイングの札幌丘珠空港常駐」、「地域への医師の定着方法」、「直美問題」などについて質問があり、活発な意見交換がなされた。

最後に、花崎勝道議会議員より「本日は多くの役員の方々の貴重なお時間をいただき、感謝申し上げる。政策が少しでも前に進むよう努力してまいりたい」との発言があり、終了した。

懇談の様子

医療政策等に関する要望（項目のみ記載）

1．医療機関の経営逼迫とその支援について
2．医療計画および地域医療構想について
　⑴地域医療構想の推進と医療提供体制整備のための予算の確保
　⑵地域医療構想の実効性確保に向けた医療需要等の最新データの迅速な提供
　⑶地域医療の持続に向けた道内公共交通機関等への財政支援と柔軟な運行体制の確保
3．医療DXの推進について
4．地域医療の確保について
　⑴地域医師不足への対応と体制強化
　⑵医師の働き方改革対応と地域医療体制確保
　⑶地域枠を活用した医師確保と定着支援
　⑷病院薬剤師確保への対応
　⑸外国人患者受入体制の強化
5．受動喫煙防止対策等について
　⑴全道各市町村における受動喫煙防止条例の制定
　⑵道議会新庁舎全面禁煙の実現と健康保持増進の対策
6．地域包括ケアシステム構築の推進について
　⑴地域支援事業「在宅医療・介護連携推進事業」推進への支援
　⑵医療・介護ロボットの普及・啓発
　⑶介護医療院の設置推進
　⑷補聴器購入費用の助成
7．救急医療体制の充実・確保について
　⑴メディカルウイング運航事業への支援
　⑵ドクターヘリの運航に対する財政的・人的支援
　⑶JMAT研修会開催に係る予算措置
　⑷原子力防災対策の更なる強化への支援
　⑸CBRNEテロ災害対策の整備・強化
　⑹小児救急医療体制ならびに救急医療体制に係る財政支援
　⑺休日夜間診療確保対策事業継続への財政支援
　⑻休日夜間診療確保対策事業の緊急時における対象範囲の拡大
8．VPD（ワクチンで予防できる病気）について
9．子どもの健全な育成について
　⑴新生児マススクリーニング対象疾患のさらなる拡充
　⑵１か月児と５歳児健診支援事業実施への支援体制の整備
　⑶３歳児健診に必要な屈折検査機器の導入
　⑷児童生徒等の学校健診への支援
　⑸健康教育における外部講師の活用
　⑹中学生を対象としたピロリ菌検査と除菌の道内全市町村での実施
10．新興感染症への対応について
　⑴地域医療機関と関係機関との情報共有ならびに連携強化への支援
　⑵協定履行に必要な費用負担への支援
　⑶緊急時に備えた物資の確保と供給体制の整備
11．看護職員の確保等について
　⑴看護職員の新規養成と人材育成の推進
　⑵地域医療介護総合確保基金「看護職員養成施設運営支援事業費補助金」の大幅な拡充ならびに補助金の早期交付及び算定基準の見直し